



きく ち とし み
菊 池 利 美
(新世代)

●水沢江刺駅の無料駐車場の大幅な増設を ●北鵜ノ木西田線の進捗状況は ●行財政改革の重点項目は何か

質問 水沢江刺駅の無料駐車場

の大幅な増設をすべきと考える。また駅周辺開発をどのように進める考えか。

市長 市設置の無料駐車場は、

駅開業に伴い昭和60年に179台分を整備した。その後、459台分まで増設し、現在は平均利用台数と同程度で、利用客が多い時には一時的に不足するが、増設は利用状況を見ながら検討したい。駅周辺の開発は、国際リニアコライダーの動向も見ながら、市の玄関口としてふさわしい土地利用を図っていきたい。駅名を変えてでもILCの拠点、玄関口であることを世界にむけて標榜するくらい価値のある場所だ。

質問 Zアリーナに通じる市道

北鵜ノ木西田線の進捗状況と今後の見通しは。

市長 平成22年度から工事を進

めてきたが、平成25年度末の道路改良部分の事業進捗率(距離ベース)は約60%。平成26年度



供用開始が待たれる市道北鵜ノ木西田線

と平成27年度に道路改良工事と橋梁工事を行い、平成28年3月の供用開始予定である。

質問 事務事業・公の施設見直し

案は300項目と、数が多いが重点項目はなにか。これ以外にもやるべきことがあるのではないか。

市長 実現可能な300項目を示している。あまりにも激変を

伴う改革は痛みが大きくなる。収支均衡がもっとも重要であり、見直し項目の洗い直しという状況も当然でくるものと思う。300項目にこだわらず、トータルで考え実行に移していく。



ひろ の とみ お
廣 野 富 男
(市民クラブ)

●少子化対策を問う

質問 少子化対策への取り組み

状況とその効果を問う。

市長 平成18年の合併以来毎年

千人づつ人口が減少している。担い手不足や地域経済の低下、地域コミュニティの維持など様々な弊害が予想される。今後、市民、企業、行政が一体となり、若者が結婚し、安心して出産、子育てが出来る環境づくりを主眼として取り組みたい。併せて、生徒、学生数が減少していくことから、地域産業を担う人材を確保するうえで、一層の企業誘致と地元企業の振興を図りたい。また、空き家バンク事業やグリーンツーリズム事業等を通じて、定住促進や交流人口の拡大に努めたい。市内に少子人口対策室を設置し計画策定や計画の推進をしてきたが、人口減少や少子化に歯止めがかかっていない。今後より実効性のある組織のあり方を考えたい。

質問 放課後子ども教室の現状

と課題を問う。

教育委員長 現在、地域振興会

や老人クラブ等の協力をいいただき運営しているが、現行のスタッフ数を確保できるかが大きな問題。

学校や家庭だけでなく地域全体で子どもを見守る意識の醸成

を図っていききたい。稲瀬地区における事務局支援については、直接事務局の方々とお会いし対応策を検討したい。

質問 移住新規就農者に対し要件緩和はできないか。

農業委員会会長 農地法上、農

地の売買や貸借等の許可要件の一つに下限面積要件(当市の場合50a)があり、取得後の農地面積が50a以上にならないと許可をしない。ただし、地域の経営面積や農地の保全・有効利用等から判断し、市長が告示した場合や草花等の高収益作物等の栽培で経営が集約的に行われると認めた場合、50a以下の面積でも許可できる。しかし、本市においては要件緩和の別段面積の設定をしておらず、少子化や定住促進対策に直接的な目的とはなっていない。



子どもたちは地域の宝